

名古屋甲状腺診療所

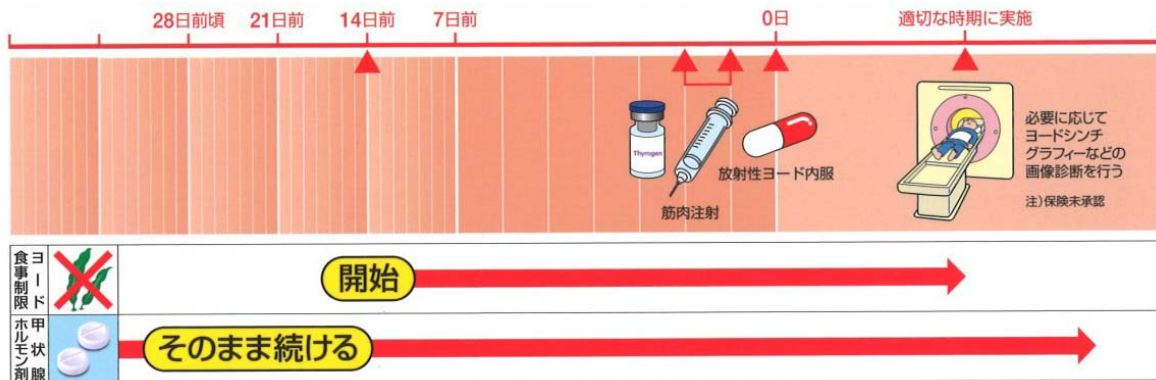
外来アブレーション治療（タイロゲン使用）

■タイロゲンを使用するアブレーションについて

タイロゲンを用いると、甲状腺ホルモン剤の中止の必要がないため、甲状腺機能低下の諸症状なく、アブレーションを行うことが可能になります。治療後は評価のため、シンチグラフィーによる画像診断を行います。

■治療の流れ

前処置～シンチグラフィーによる画像診断までは、下記手順で行います。
タイロゲンを使用する場合、甲状腺ホルモン剤の中止・変更は必要ありません。



治療(放射性ヨウ素服用)の14日前から、
服用後3日間はヨウ素制限を行います。

↓ 12日後

放射性ヨウ素服用の2日前（ヨウ素制限12日目）
タイロゲン筋肉注射1回目

↓ 翌日

放射性ヨウ素服用の1日前
タイロゲン筋肉注射2回目

↓ 翌日

放射性ヨウ素カプセルを服用します。
（アブレーション治療の実施）

↓ 3日後（72時間後）

シンチグラフィーによる画像診断